

ブロック賞 小高ワーカーズベース (南相馬)

地域づくりに挑む団体を支援しようと、福島民友新聞社など地方新聞46紙と共同通信が設けた「第8回地域再生大賞」が27日決まった。大賞(副賞100万円)は、主婦らが農産物の加工・販売に取り組む「陽気な母さんの店」(秋田)。地域のモデルとなる活動に贈るブロック賞に、本県から「小高ワーカーズベース」(南相馬市)が選ばれた。また、会津電力(喜多方市)は優秀賞となった。2月9日に都内で表彰式・シンポジウムを行う。

優秀賞 会津電力 (喜多方)

第8回地域再生大賞の受賞団体

大賞	陽気な母さんの店	秋田県大館市
準大賞	豊島子どもWAKUWAKUネットワーク	東京都豊島区
奨励賞	おっちらポ	島根県雲南市
ブロック賞	フィッシャーマン・ジャパン	宮城県石巻市
	〈北海道・東北〉小高ワーカーズベース	南相馬市
	〈関東・甲信越〉ふらっとステーション・ドリーム	横浜市
	〈東海・北陸〉シラミネ大学	石川県白山市
	〈近畿〉気張る! ふるさと丹後町	京都府京丹後市
	〈中国・四国〉尾道空き家再生プロジェクト	広島県尾道市
	〈九州・沖縄〉湯布院映画祭実行委員会	大分市
特別賞	ワインツーリズム	甲府市
	里山くらしLABO	静岡市
	がんばろう高山	鹿児島県日置市
優秀賞	会津電力	喜多方市
		ほか36団体

地域再生大賞

準大賞(同30万円)には地域で子育てを支援する「豊島子どもWAKUWAKUネットワーク」(東京)と、若者の起業を後押しする「おっちらポ」(島根)を選んだ。若者が新たな漁業の姿を目指す「フィッシャーマン・ジャパン」(宮城)は、特設の奨励賞(同20万円)に決まった。

ほか、「ふらっとステーション・ドリーム」(神奈川県)、「シラミネ大学」(石川)、「気張る! ふるさと丹後町」(京都)、「尾道空き家再生プロジェクト」(広島)、「湯布院映画祭実行委員会」(大分)に決定。特色ある取り組みを評価し、特別賞(同10万円)には「ワインツーリズム」(山梨)、「里山くらしLABO」(静岡)、「がんばろう高山」(鹿児島)の3団体を選んだ。そのほか残る37団体は、価値ある活動を続けているとして優秀賞を贈ることが決まった。



帰還住民 生活支える

小高ワーカーズベース

ブロック賞に選ばれた小高ワーカーズベースは、帰還住民の暮らしを支えるビジネスの創出を目指し複合サービス業として2014(平成26)年に南相馬市小高区で創業。シェアオフィスの運営のほか、同年12月には食堂「おだかのひるごはん」を開業、15年9月から食料品や日用品を扱う仮設店舗「東町エンガワ商店」の運営を担う。

和田智行小高ワーカーズベース社長の話 今回の受賞には大変驚いている。小さな会社でも地域を変えていく、つくっていきけるのかなというふうを感じている。受賞は地域をはじめ、多くの人の応援のおかげ。その人たちのためにも大きなインパクトを与えられる会社に成長していきたい。

帰還住民の暮らしを支える
ビジネスの創出を目指す小
高ワーカーズベース



再生可能エネルギーの普及に取り組む会津電力の社員ら



再生エネ普及を推進

会津電力

優秀賞の会津電力は震災後、「原発に依存しない社会づくり」を掲げ、会津地方を中心に再生可能エネルギーの普及を進めている。

会社設立は2013(平成25)年8月。18年1月現在、70カ所に太陽光発電所を整備している。出力は約5・2がワットで、年間発電量は一般家庭約1700世帯分の年間使用量に当たる。

喜多方市の雄国太陽光発電所には再生エネの体験学習施設が併設され、約1300人が視察に訪れた。



佐藤弥右衛門会津電力社長の話 会津電力は地元自治体や金融機関、企業などから出資を得て発足した。「自分たちで使う電力は自分たちでつくる」という考えのもと、地域活性化を求めてきた成果が評価されてうれしい。今後も再生可能エネルギーを推進する団体などと協力して、取り組みを広めていきたい。

地域再生大賞 人口減少が進む厳しい環境の中で、地域活性化に挑む団体を、地方新聞と共同通信のネットワークで取り上げ、エールを送ろうと2010年度に設けた。各紙が都道府県から原則1団体ずつ推薦した計50団体を、専門家による選考委員会が審査し、各賞を決定する。